

## 2024年7月のブルーベリー農園その2

まだ梅雨だが東広島市豊栄町のブルーベリー園の周囲は日に日に青葉が茂り、ブルーベリーの枝もよく伸びていて、雑草もどんどん伸びて農作業を休む暇はない日々。生き物も元気で今夏はブルーベリ

ー畑でキジの抱卵に会い、小鳥の巣に雛が育っている場面に出会い、そーっと、そーっと見守ることで自然の営みの面白さを体験している。鳥たちの巣立ちを願いながら飽きずに安芸区の自宅から農園に通っている。ブルーベリーの摘み取りも早生のタイプから始まり安芸の郷が運営している cafe さくらにわずかだが納品も始まった。

7月7日(日) ブルーベリー畑の上に広がる空はまるで真夏の景色



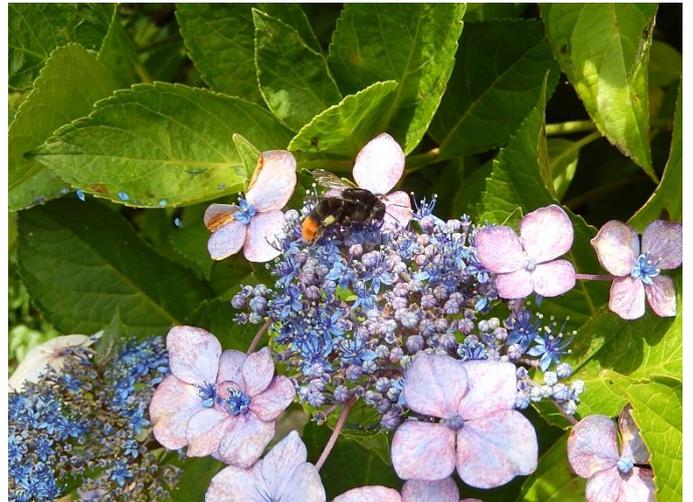
雛がいた。周辺のブルーベリーの剪定は見送りに



7月10日(木) 青々と広がる豊栄の田んぼ



② 7月12日(金) 農園の庭のガクアジサイ数匹のマルハナバチが花粉を小脇に抱え花の中でぐるぐる忙しそうに蜜を吸う



農園にいる生き物たち

① 7月7日(日) ブルーベリー畑の剪定をしていたら 1.5m くらいの高さの所に小鳥の巣がありもう



③ 7月12日（金）農園の庭や里山に出てきた羽の黒いイトトンボ



草を刈る

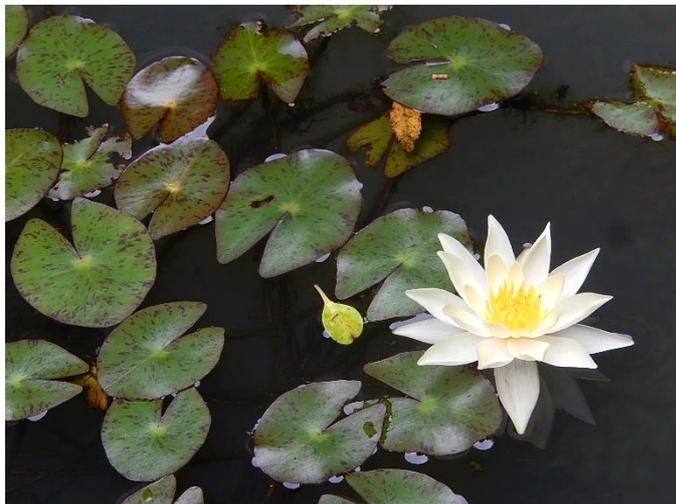
① 7月13日（土）ブルーベリー畑のネムノキの近くで草を刈る



② 里山のブルーベリー園の草刈りが終了。ブルーベリーのヒコバエがボコボコ生えていたが全部切った



ミニスイレンが開花（農園の庭の池で）



ヒオヒオウギズイセン（里山のブルーベリーで）



ブドウの房よりもっと長い晩生のブルーベリーの実（ブルーベリー畑で）



2024年7月15日  
社会福祉法人安芸の郷  
理事長 遊川和良

《2024年7月15日の「新・ヒロシマの心を世界に」のブログに掲載したものに写真を加えて編集しなおしています》